

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着 Proceedings

下記資料の照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-3241-1228

受入 No.	PROCEEDINGS 名	開催地	開催月日	SPONSOR 名
1180	XXXIIIrd International Colloquium on Refractories	Aachen	90.10. 8	Verein Deutscher Eisenhüttenleute
1181	HIGH-Temperature Ordered Intermetallic Alloys IV	Boston	90.11.27	Materials Re- search Society
1182	Structural Applications of Mechanical Alloying	Myrtle Beach	90. 3.27	ASM
1183	Developments Ladle Steelmaking and Continuous Casting	Hamilton	90. 8.26	CIM
1184	Steel Reheat Furnace Technology	Hamilton	91. 8.26	CIM
1185	High Temperature Niobium Alloys	Indianapolis	89.10. 2	TMS
1186	Wear-Corrosion Interactions in Liquid Media	Indianapolis	89.10. 1	TMS
1187	Superalloys 718, 625 and Various Derivatives	Pittsburgh	91. 6.23	TMS
1188	International Conference on Evaluation of Materials Performance in Severe Environment	Kobe	89.11.20	日本鉄鋼協会
1189	World Conference Powder Metallurgy	London	90. 7. 2	Inst. Metals.
1190	Zinc-Based Steel Coating Systems: Metallurgy and Performance	Detroit	90.10. 1	TMS
1191	Second International Symposium Recycling		1990 年	TMS
1192	Steelmaking Conference Proceedings, Volume 74	Washington	91. 4.14	AIME

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

- (1) ISO 規格が発行されたもの：1 件
ISO 6935-2 (SC 16)：鉄筋用鋼-リブ付棒鋼 (09-01)
- (2) DIS 投票が開始されたもの：2 件
DIS 4992 (SC 11)：鋳鋼-超音波探傷 (09-12)
DIS 8458-3 (WG 20)：ばね用オイルテンパー線 (09-12)
- (3) DIS が登録されたもの：5 件
DIS 630-1 (SC 3)：構造用鋼-鋼板、棒鋼、型鋼 (09-20)
DIS 4950-1 (SC 3)：高降伏点鋼板-一般要求 (09-20)
DIS 4950-2 (SC 3)：高降伏点鋼板-焼ならしまたは制御圧延機 (09-20)
DIS 4950-3 (SC 3)：高降伏点鋼板-焼入焼もどし機 (09-20)
DIS 4952 (SC 3)：耐候性鋼 (09-20)

2. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) 鉄鋼 ISO 運営委員会開催

9 月 17 日に開催された第 26 回鉄鋼 ISO 運営委員会において、定例議題の他に特別議題として幹事国業務継続引受けの是非について討議され、次回各社の考えを持ち寄って結論を出すこととなった。(3 年に一度定期的に見直すことになっているもの)

TC 67/SC 5 次回国際会議については別稿参照。

(2) TC 17 総会準備

1) 総会出席要請を主目的として中国冶金標準化研究所を訪問した。結果は次のとおり。

a) 総会議題のうち、生産性、TC 17 Strategic policy statement, ISO 9000 の TC 17 Version について説明の上、討議した。特に注目すべきコメントはなかったが、

TC 17 Secretariat の活動を高く評価していた。

b) 総会には 3~4 名の出席が期待できる。SC 12, SC 20 会議へも出席の見込み。

c) 中国及び日本の国際標準化への対応につき意見を交換した。

d) SC 17 Secretariat 引受けの意志表示あり。当方に正式に連絡があれば、総会で取り上げることを約した。

2) 資料準備

総会提出予定の全 34 文書のうち 15 文書の配布を行い、前月の 13 文書とあわせ 28 文書の配布を完了した。

3) 出席要請

これまで日本を含め 7 か国は出席が予想されているが、これをさらに増加させるべく有力 P メンバー国に出席を要請するレターを出状した。また、ECISS へも出席勧誘を行った。

(3) 規格作成期間短縮に関する IEC 提案について工技院へ協力

7 月号で紹介した内容にもとづく Directives の改訂案が、10 月に開催される Technical Board での検討資料として中央事務局より提示され、JISC (事務局：工技院標準部) よりその検討依頼があった。内容を再度整理してみると、WD, CD, DIS の完成目標を新 Work Item の登録より、おのおの 18 か月、2 年、3 年とし、その達成のために

1) Proposal stage の前の Preliminary stage を有効に利用して、将来の作業項目の内容、規格作成の手間をよく吟味してから項目採否を決定する。

2) Editing committee を (必ず) 設置して、会議の決定事項は早急に (会議中または直後に) 修正する。